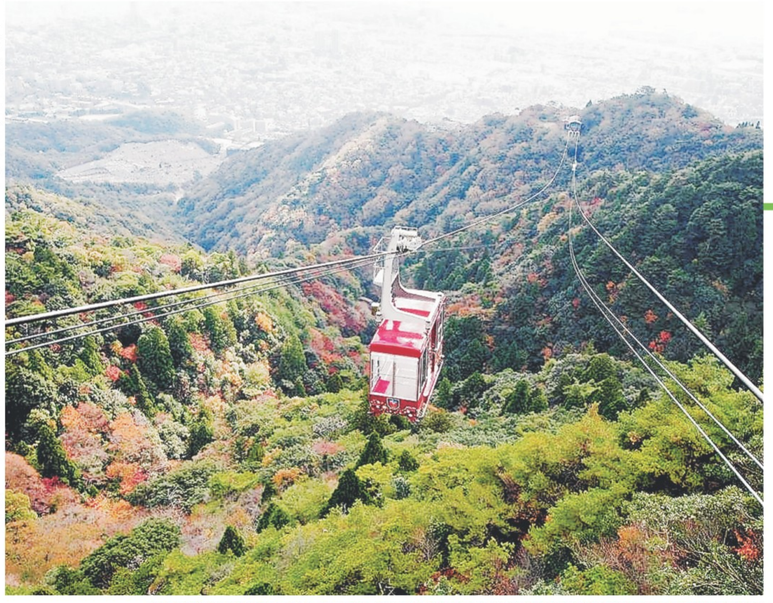
六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しや情報を、大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介を通して、六甲山の魅力に迫ります。
（毎月第２火曜日に掲載）

兵庫おでかけ情報 青空主義プラス


大阪湾一望の大パノラマと紅葉の競演が楽しめる摩耶ロープウェー

空中から楽しむ秋景色

根岸真理が案内　山の四季便り

乗り物で気軽に登れる山は数多いが、ロープウエーが4路線、ケーブルが2路線ある山は、日本でも六甲山くらいではないだろうか。空気の澄んだ秋は、空中から雄大な景色が楽しめるロープウエーでの登山がお薦めだ。深まりゆく紅葉を、上空から見下ろす迫力は格別。木漏れ日の中を走るケーブルカーの車窓からも、カラフルに色づく木々と、秋を実感できる。

六甲山縦走コースの西端玄関口にあたる須磨エリアには、須磨浦公園駅から直結の「須磨浦ロープウェイ」がある。付近は平安時代から知られた景勝地。海を一望する眺めは、古代の貴族にとってもぜいたくなものだっただろう。ちなみに、開通50年を迎えた国内唯一の「カーレーター」もある。

ロープウエーで山上へ

紅葉に映えるおしゃれなゴンドラが特長の「神戸布引ロープウェイ」

三宮の北へすぐ、新幹線の新神戸駅から乗れるおしゃれなゴンドラが「神戸布引ロープウェイ」。山麓駅から標高397㍍の山頂駅までの約10分間は、名勝「布引の滝」、国の重要文化財「五本松堰堤」（布引ダム）、そして神戸の街並みや港と見どころが続く。晩秋は周辺の森が燃えるような紅葉となり、息もつかせぬ絶景に。27日までの土日・祝日は、展望レストハウスなどをライトアップする「光の森」も開いている。

まやビューライン（ケーブルとロープウエー）も、見ごたえのある眺望が楽しめる。木々のトンネルをくぐるように登るケーブルから、一気に大阪湾一望の大パノラマが広がるロープウエーへと乗り継ぐ。眼下には色とりどりに染まる秋の森が、鮮やかなじゅうたんのように見下ろせる。

一方、六甲山頂部と関西の奥座敷・有馬温泉を結ぶ「六甲有馬ロープウェー」は、標高約880㍍の山頂駅から、標高差440㍍の有馬温泉駅へ。約29度という急こう配の傾斜が特徴で、高度感は抜群。4路線のロープウエーの中では最も長い。湯槽谷や紅葉谷といった六甲山北斜面の紅葉を上空からふかんできる。

それぞれのロープウエー、ケーブルからの景色を見比べるのも面白い。六甲ケーブルで南麓の紅葉を眺めながら山上へ。山頂の施設の散策を楽しんだ後は、「六甲有馬ロープウェー」で有馬へ。温泉でゆったりと温まり、新店が続々オープンしている温泉街、瑞宝寺公園など紅葉の名所を訪ねるのもいい。

ケーブル、ロープウエーの機動力を生かせば、六甲山系を縦横無尽に堪能できる。ハイカーにとっては下山に利用できるので、日没が早い冬期も安心。山歩きやレジャーの幅が広がる。

◆　◆

須磨浦ロープウェイは須磨浦山上遊園☎078・731・2520▽神戸布引ロープウェイ☎078・271・1160▽まやビューライン☎078・861・2998（星の駅、火曜運航休）▽六甲有馬ロープウェー☎078・891・0031

六甲有馬ロープウェーの眼下には、紅葉のじゅうたんが広がる

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山シーズンガイド～秋・冬」など。

山小屋

太閤の湯　森ライトアップ

金泉、銀泉のほか、蒸し風呂や岩盤浴など多彩な温浴施設を備えた「太閤の湯」。敷地内に森林浴と温泉入浴の相乗効果を図る「ヘルスレーン」として、森の散策路「官兵衛古道」を設けている。

有馬で湯治をしたと伝わる黒田官兵衛にちなんで名付けられ、棚田のように高低差のあるエリア。約80本の紅葉が楽しめ、11月中旬ぐらいに見頃を迎える。この時期に合わせて夜間ライトアップも実施＝**写真**。期間中は敷地内の通り抜けを一般解禁（ヘルスレーン内は夜間閉鎖）している。

23日までの17～23時。問い合せは有馬ビューホテルうらら☎078・904・2291（根岸）

文学部

◆七五三まいり　30日まで９～17時（受け付けは16時まで）、摩耶山天上寺（摩耶ロープウェー「星の駅」徒歩10分）。男の子は数え年で３歳（2014年生まれ）、５歳（12年）、女の子は３歳（14年）、７歳（10年）対象＝**写真**。満年

齢も可。祈祷料１人7000円（兄弟姉妹は２人で１万2000円、３人で１万5000円）。予約不要。同寺☎078・861・2684

◆神戸市立外国人墓地一般公開　27日10時半、13時半の２回、再度公園・森林整備事務所前集合（ＪＲ「三ノ宮」駅からバス「再度公園」）。近代遺産として国名勝に指定されている外国人墓地をガイドの案内で見学。幕末以来、神戸に住み造船などの近代産業、パン・洋菓子など神戸文化の発展に貢献した外国人ら約2800人が埋葬されている。参加費無料。各回定員30人。往復はがきに代表者の住所、氏名、電話番号、見学者全員の氏名（１枚で４人まで応募可）、希望時間帯（午前か午後）を明記し、〒651－1102　神戸市北区山田町下谷上字中一里山４の１　神戸市建設局公園部森林整備事務所へ申し込む（申込者多数の場合は抽選）。10日消印有効。神戸市立外国人墓地☎078・341・5200

芸術学部

◆シルバーアクセサリー手作り体験　2017年１月９日まで10時半～19時、六甲ガーデンテラス内ホルティ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。高純度のシルバー素材を使用してリングやプレートなどを作る。好きな文字を刻印できる。1200～3300円。予約不要。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

◆クリスマスフラワーアレンジ教室　12日、12月４日13～15時、六甲ガーデンテラス内ホルティ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。クリスマスシーズンや冬向けのアレンジメントを作る。11月12日「クリスマス・リース」（定員８人）、12月４日「ナチュラル・スワッグ」（定員６人）＝**写真**。レッスン後には、温かいはちみつ紅茶も。4500円（材料費込み）。前日までに電話で申し込む。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

◆六甲山夜景ジャズライブ　26、27日17時、17時50分の２回（各回40分程度）、六甲山天覧台・TENRAN　CAFE（テンラン・カフェ）（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。中高年を中心とした「おやじジャズバンドコンテスト　in　神戸」で優秀な成績を残したグループや、学生などのアマチュアバンドが演奏を披露＝**写真**。無料。兵庫県神戸県民センター・県民交流室県民課商工労政担当☎078・361・8638

◆ミントサロン「山で気軽にウクレレを楽しもう」　12月15日19時～20時半、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。「山のウクレレ教室」講師の岩佐淳さん＝**写真**＝を招き、小さくて扱いやすく、初心者でも親しみやすいウクレレや、山上で開く教室について話す。教室の生徒と一緒にクリスマスソングなどの披露も。講演後にワインを飲みながらの懇親会がある。500円。定員50人。メール（mintsalon@kobe-np.co.jp）かファクス（078・360・5514）に住所、名前、電話番号、年齢、性別を明記し、六甲山大学事務局ミントサロン係へ申し込む。定員に達し次第締め切る。同事務局（神戸新聞地域創造内）☎078・362・2983

環境学部

◆紅葉のライトアップ　30日まで16時半～18時半（入園は18時まで）、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。光の演出で紅葉をライトアップする。期間中は無休。無料（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円）。同園☎078・591・0253

課外活動

◆六甲山専門学校12月「森林植物園のお仕事」　12月９日19時～20時半、神戸学生青年センター（阪急「六甲」駅北徒歩３分）。神戸市立森林植物園職員の岡本佳菜子さんが、六甲山中にある「森林」がテーマの植物園の日々の仕事について話す。1000円。定員20人（応募多数の場合は抽選）。はがき（〒657―0065　神戸市灘区宮山町２の４の７　サニー六甲２号　白馬堂Rokko）またはメール（info@hakubado.com）で、11月20日までに申し込む。白馬堂Rokko☎078・841・8986（12～19時、火、水曜休）

総合学部

◆摩耶山リュックサックマーケット　19日11～16時、摩耶山掬星台（摩耶ロープウェー「星の駅」すぐ）。リュックひとつで参加できるフリーマーケット＝**写真**。３月から11月の第３土曜日に開催し、今回で100回を迎える。雨天中止。入場無料。monte702☎078・882・3580

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
領域をこえ 未来へ OJI
santica The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか
ひとのときを、想う。JT
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
順不同
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp